

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス SOALA小郡南校				
		公表日 2026年1月9日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		増築を行い人数に合ったスペースを確保しています。定期的に室内の模様替えを行い、その時の利用者に適した配置の工夫を行っています。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		適切な職員数の配置で運営を行っています。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		お子様がわかりやすいような教具等の配置で運営しております。イラストや写真などを使って視覚的な配慮を施しています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		常に清潔感をもって運営しております。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		静養室や面談室など、お子様の必要に応じて安心して過ごせる環境を整えています。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		全ての職員が、PDCAサイクルを意識して日々支援を提供しております。その時々で支援の必要性や支援の工夫を全体で考えて提供しております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		その都度職員間で話し合っております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		日々の会議や面談等で、全ての職員から意見をもらい、事業所がより良いものになるような工夫を講じています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		相談所の評価を基に、改善につなげております。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		毎月1回社員研修を行っております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		明確な支援プログラムを作成し、公表させていただいております。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		個々のお子様に合わせた計画を作成し、支援しております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		全職員が意見を出し合えるような環境の下、会議を行い作成しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画に沿った支援を提供しております。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		本日の様子を記録し、次の支援やアセスメントに活かしています。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		お子様や保護者様のニーズに合わせた項目を設定して、具体的でわかりやすい支援内容を記載しております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		チーム全体で立案し、実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		広い視野での活動内容を行うために、各自情報収集をしております。それぞれの職員が得意としている分野を、他職員に指導することで、事業所全体として支援の質を高められるようにしております。		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		お子様の状況や特性に合わせて、活動を設定し提供させていただいている。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼、昼礼、終礼で動きや情報を共有して、連携して働くことができるようにしています。		

関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		朝礼だけでなく、頻繁に話し合いの場を設け、今事業所をどうしていくことが最善であるかを考える機会を設けております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		本日の様子を記録して支援に活かしています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		時には計画の改善や修正が必要であることを理解し、ブラッシュアップしながら、支援を実施しています。	
保護者への説明等	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		お子様のことをしっかりと理解した職員が参加するようにしております。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		連携して体制を整えています。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		連絡を取りあったり、共有の場を設けるなど情報共有・相互理解に努めています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		連絡を取りあったり、共有の場を設けるなど情報共有・相互理解に努めています。	
	(28~30は、センターのみ回答)	8		連携し、支援の質の向上を図っています。	
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8			
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8		個々の職員でも、自身の専門性を向上させるために参加させていただいている。	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8		参加させていただいている。	
	(31は、事業所のみ回答)	8		参画させていただいている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8			
保護者への説明等	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		地域の児童と関わるイベントなども企画しています。	
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		共通理解できるよう、送迎時や面談、電話などで状況や情報をしっかりと共有させていただいている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		そあらのひろば等に参加いただき、支援の仕方や手段を周知できる機会を設けています。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		面談や契約時に丁寧に説明させていただいている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談やアセスメントを通して、それぞれの意向を確認する場を設けています。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		同意を得ています。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		常に話しやすい雰囲気や環境を整え、不安や悩みに寄り添っています。また、積極的に関わるよう努めています。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		そあらのひろばを通し保護者同士の連携の場を提供しています。	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		保護者との関わりは特に大切にしております。 常に話しやすい雰囲気や環境を整え、不安や悩みに寄り添っております。また、積極的に関わるよう努めています。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		SNS等を使って、SOALAでの活動の様子を発信させていただいている。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		注意して扱っています。	

非常時等の対応	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		特性を理解したうえで、配慮して対応させていただいている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		地域の方の協力をいただきながら、事業運営させていただいている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルを作成し、季節や時期に合わせた訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的に訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		都度、電話や対面で保護者様にお話を聞き、状況の確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		対応させていただいている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		作成し、安全かつ安心してお子様が利用できるよう配慮して支援させていただいている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		迅速な連携が取れるよう、周知させていただいています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットを活用して、安全な運営につなげています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		SOALAの会社全体としても、事業所単位でも研修を実施して、対応させていただいている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		職員も、保護者様にも十分に理解してもらって運営させていただいている。	